



6月は心のきずなを深める月間

いじめを許さない学校、学級を目指して、さまざまな取組を行います。18日の全校集会で、子どもたちに次の話をしました。

6月は「心のきずなを深める月間」ですが、

「心のきずな」って、どんなことでしょうか？

私はこの写真(子どもたちの学校生活の中で共感力、考動力、やり抜く力が見られた場面)の中に「心のきずな」をたくさん感じました。

(子どもたちは、すぐに「あいさつ」と返してくれました。) そうですね。

「おはよう」と聞こえてきます。こちらは、授業中にお隣さんと教え合っています。

「教えて」「いいよ」「ありがとう」。教えてもらうと



うれしいですね。

こちらは、誕生日の人をお祝いしています。

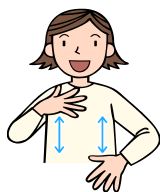
「おめでとう」が聞こえてきますね。

このように、私たちはいつも誰かと言葉を交わしながら、心を通い合わせて生きています。こんな言葉がたくさん聞こえてきたら、温かい気持ちになり、心がほかほかになります。心のきずなが生まれてきた証拠です。

みなさんに「一秒の言葉」という詩を紹介いたします。「」にどんな言葉が入るか考えてください。(少し難しかったと思いますが、近くの友だちと一緒にワイワイ言いながら考えていました。その後、全員で音読)

こんな言葉がたくさん聞こえるようになれば、心のきずなが深まり、高道小が誰にとっても楽しい学校になっていくと思います。

そんな高道小をみんなで作っていきましょう。



養護の清田先生からは「心のポスト」を紹介しました。

「一秒の言葉」 小泉吉宏

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に人の優しさを知ることがある

「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉でしあわせにあふれることがある

「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に人の弱さを見ることもある

「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになる時がある
一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命一秒

20日には「なかまになろう集会」を開きました。高道小の人権宣言や各学級の人権宣言を発表し合い、大切にしたいことを決めました。その後、縦割り班ごとに集まって、自己紹介をしたりゲームをしたりしながら、お互いのことを知り合う時間を持ちました。子ども同士のつながり、大事にしていきます。

おねがい

- 今週は「すこやかチェック」に取り組みました。子どもたちが健康的な生活習慣を身に付けることができるように、自分で毎日振り返りをして記録を残しました。本日持ち帰りますので、今回もコメント欄にひとことお願いします。今後の励みになります。
- これまで家族旅行等に行かれた際に、学級の友だちに気持ちばかりとおみやげを買ってきてくださることがあったと思います。食アレルギー等の心配がありますので、今後は本当にお気持ちだけにしていただき、学校に持たせることはご遠慮ください。ご理解の程、お願いします。

